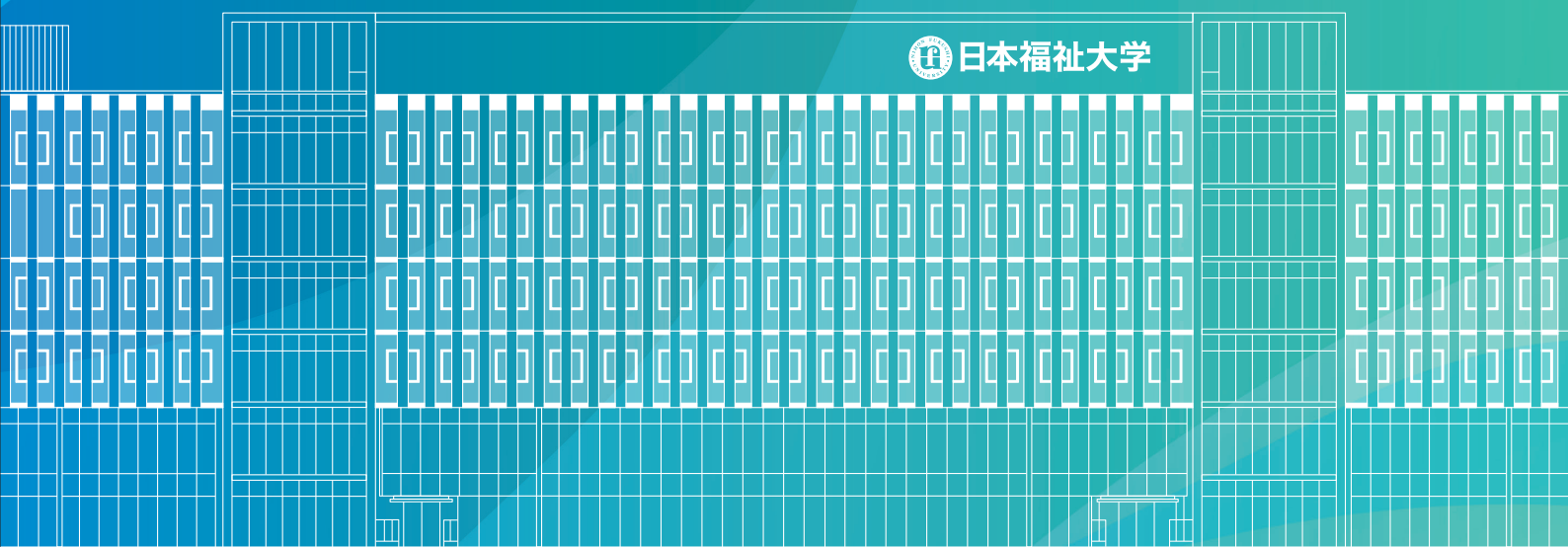


日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程

Graduate School of Social Work
Founded 1969

2027年4月
通学課程
設置届出中

伝統を究め、
知を拓く。



 日本福祉大学



日本福祉大学

2027年4月、 新たな通学課程が始動します。

本学は1957年に社会福祉学部、1969年に社会福祉学研究科をともに日本で初めて開設して以来、社会福祉教育のパイオニアとして、弛むことなく理論と実践を積み重ね、多くの福祉人材を輩出してきました。本研究科では、社会福祉学専攻修士課程に通学課程を設置し、変革を導くことのできる研究者・福祉現場のリーダーを養成します。



Human Resources 養成する人材像

福祉現場の実践に寄与するための研究に取り組み
日本の社会福祉研究をリードする人材を養成します。

●研究者に求められる力=アカデミックスキルズを身に付けるカリキュラムと、少人数制によるきめ細かい指導により、基礎研究力と学際性を兼ね備えた社会福祉研究者および実践者を養成します。

●修士課程・博士課程の継続的なカリキュラム設計により、博士課程への進学を想定した研究指導を行い、研究による知見をもとに福祉現場を変革するリーダーとしての力を育成します。

Features 5つの特色

社会人院生と学部卒院生、
双方の学びやすさと
教育内容を充実。

5 学部からの進学で 5年一貫教育を実現

科目等履修生制度による入学前の「大学院科目先取り履修」や、学部の卒業研究と修士課程の研究指導継続により、学士・修士5年一貫教育として早期修了も可能です。

1 通信・通学融合型の 柔軟な学び

昼夜開講制やオンライン授業の活用、社会福祉学専攻（通信教育）科目の履修も一部可能とする、「通信・通学融合型」を採用し、社会人院生と学部新卒院生の大学院生の双方の学びやすさと教育内容を充実を図ります。

2 福祉現場でのキャリアを 強みとする研究をサポート

本学が長年培ってきた、社会人対象大学院の実績を踏まえ、福祉現場での実務経験を「強み」として研究に昇華できるよう、実証的研究の手法を重視した指導体制を整えています。

4 「リサーチペーパー」 による修了選択

高度専門職業人の養成を目的とし、修士論文に代えて、特定の課題について研究するリサーチペーパーでの修了も可能です。

3 実践研究の知見をもとに 福祉現場を変革する リーダースキルの育成

知多半島総合研究所やウェルビーイング工学研究センターなど、東海キャンパスに設置する研究センターへの研究参加により実践的な研究を深められます。

カリキュラム

対面による授業や指導を重視、
多角的な視点を養う多職種連携教育を展開。

通学課程ならではの対面による授業や研究指導を重視するとともに、他の研究科・専攻と合同で学ぶ多職種連携教育により多角的な視点を養い、日本やアジアを牽引する研究者・福祉現場のリーダーを養成します。



大学院共通科目

研究デザイン、研究方法など研究を遂行する上で必要な基礎知識・技能や多職種連携のスキルを身につけるための科目を開講

- 私の研究テーマと研究方法
- ケースメソッド演習
- 研究方法概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- プログラム評価論
- 統計解析講座
- リハビリテーション特論Ⅰ・Ⅱ
- 多職種連携概論
- 先端老年社会科学講座
- 多職種連携実践Ⅰ・Ⅱ

演習科目

国内外の文献・論文の読解や研究構想の立て方、各種の研究手法等について演習形式で総合的に学ぶ。また、プレゼンテーションやディスカッション等により研究力を身につけるための演習形式による科目を開講

- 研究構想設定演習
- 文献講読演習
- 専門演習Ⅰ・Ⅱ

専門科目

社会福祉学・ソーシャルワークの各領域の研究動向について、総合的・専門的に学ぶ科目を開講

- 社会福祉政策特論
- 高齢者福祉論特講
- 社会福祉理論政策特講
- 障害者福祉特論
- 社会保障論特講
- 子ども家庭福祉論特講
- 貧困問題と低所得者支援特論
- 福祉教育方法論特講
- ソーシャルワーク特論Ⅰ・Ⅱ
- 司法福祉論特講
- 医療ソーシャルワーク特論
- 福祉と介護特論
- スーパービジョン特論
- ジェンダー社会科学特論
- ケアマネジメント論特講
- 調査研究方法論特講
- 地域福祉特論

研究指導科目

指導教員のきめ細やかな個別指導を軸に、複数の教員から広く指導を受けながら、修士論文・リサーチペーパーを作成するための科目を開講

- 研究指導演習Ⅰ・Ⅱ



履修パターン

専門演習以外の科目は、研究目標やスケジュールにあわせて履修を工夫することで、通学負担軽減も可能です。
専門演習は2年間を通じて開講されます。講義は1年次に集中して履修が可能です。
講義の一部科目は、オンライン併用で開講される場合があります。

Pattern.1 平日の講義を中心に履修

開講キャンパス・時間割	月曜	火～金曜	土曜
1限 5限 東海 9:30～17:40		東海 専門科目 前期・後期 2～3科目程度	
6限 7限 東海 名古屋 18:25～21:35	東海 専門演習 (必修)	名古屋 大学院共通科目 前期・後期 各1科目程度	

Pattern.2 夜間・土曜の講義およびオンデマンド講義を中心に履修

開講キャンパス・時間割	月曜	火～金曜	土曜
1限 5限 名古屋 9:20～18:15			名古屋 大学院共通科目 年間2科目程度 (集中講義)
6限 7限 東海 名古屋 18:25～21:35	東海 専門演習 (必修)	名古屋 大学院共通科目 前期・後期 各1科目程度	
その他	オンデマンド講義(時間不問) 専門科目 前期・後期2科目程度		

修士論文指導教員

高い専門性と実務実績を持ち、
学生の多様な成長を支援する熱意あふれる指導。

伊藤 文人 教授

社会福祉と批判的社会理論、
社会福祉の倫理と価値、
民衆福祉の歴史人類学的研究

大谷 京子 教授

ソーシャルワーク方法論、
精神保健福祉、スーパービジョン、
専門職アイデンティティ

川島 ゆり子 教授

地域福祉、ソーシャルワーク、
コミュニティソーシャルワーク、
ボランティア活動

小林 勇人 准教授

ワークフェア、
所得保障、就労支援

小林 洋司 准教授

福祉教育・ボランティア学習、
生涯学習、社会運動、
人権教育

末盛 慶 教授

ジェンダー、
ワーク・ライフ・バランス、
シングルマザー、家族

中島 民恵子 教授

高齢者、認知症ケア、
地域ケア、終末期ケア、
社会福祉政策、国際比較

林 祐介 准教授

医療ソーシャルワーク、
医療福祉実践

洪 英在 教授

公衆衛生、社会医学、
在宅医療、高齢者医療

山口 みほ 准教授

医療福祉、ソーシャルワーク、
薬物依存症、嗜癮問題、
スーパービジョン

横山 由香里 准教授

保健学、健康社会学、
公衆衛生学

概要

研究科・専攻 名称(英語表記)	社会福祉学研究科 (Graduate School of Social Welfare)	標準修業年限	2年 ※早期修了制度あり
	社会福祉学専攻修士課程 (Master's Degree Program Social Welfare Major)	開設時期	2027年4月
入学者 受入方針	社会福祉、保健・医療・介護、教育・保育の領域に 関する基礎的な素養を身につけており、さらに 研究力・実践力を身につけたい者	設置場所	東海キャンパス(愛知県東海市大田町下浜田1071番地) ※一部授業は名古屋キャンパスで開講
		学生納付金	初年次納付金合計額 …………… 980,000円 [内訳] <small>※1</small> 入学金(入学時のみ) …………… 200,000円 授業料(年額) …………… 680,000円 教育環境充実費(年額) …………… 100,000円 <small>※1 本学学部卒業生 および 本学園卒業生の減免あり</small>
学位の名称 (英語表記)	修士(社会福祉学) (Master of Social Welfare)	その他	奨学金等の支援制度については、 詳細が決まり次第ご案内いたします。
入学定員	10名		
収容定員	20名		

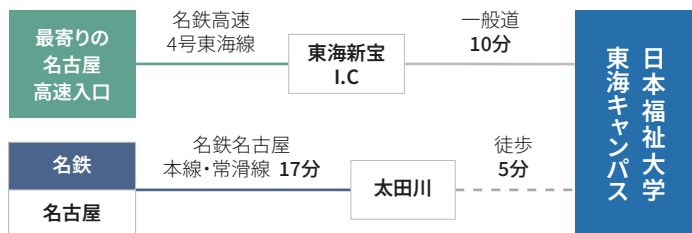
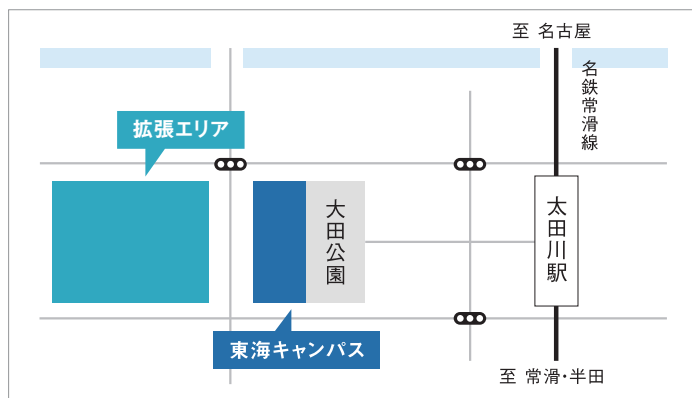
入試情報

区分	一般入学試験	社会人入学試験
出願期間	[第1期入試] 2026年10月9日(金)～2026年10月23日(金) [第2期入試] 2027年1月15日(金)～2027年1月29日(金)	
試験日	[第1期入試] 2026年11月7日(土) [第2期入試] 2027年2月13日(土)	
試験会場	名古屋キャンパス	
合格発表	2026年11月14日(土)	2027年2月20日(土)
選考方法	書類審査、専門試験、面接	書類審査、小論文、面接

アクセス

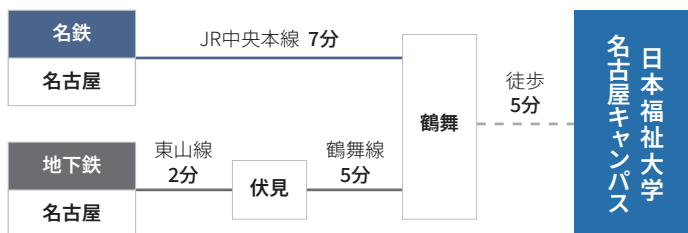
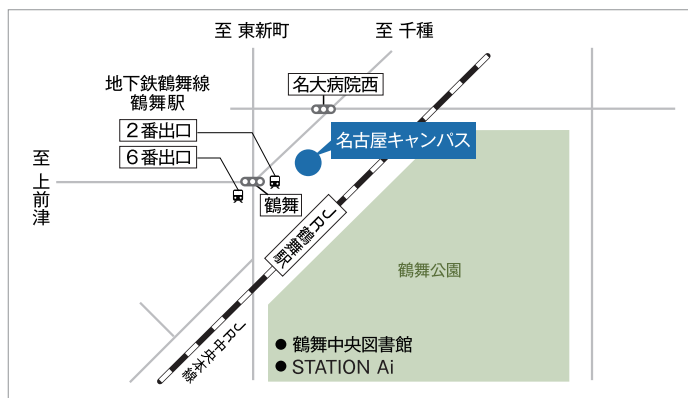
日本福祉大学 東海キャンパス

〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田1071番地



日本福祉大学 名古屋キャンパス

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35



大学院共通科目は
名古屋キャンパスで
開講

お問い合わせ | 日本福祉大学 名古屋事務室 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35
TEL 052-242-3050 E-mail swjim@ml.n-fukushi.ac.jp

最新情報はWEBサイトへ
<https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/>



※設置計画のため、掲載内容は変更となる場合があります。